

児童のみなさん、先生方、避難訓練お疲れさまでした。

さて、今日の避難訓練は「大きな地震が発生した」ことを想定して行いました。台風とか、大雨であればある程度予測することができそうですが、地震は、いつ起こるかわかりません。わかったとしても、直前にしかわからない状況です。

今日のように、肌寒い日に地震が襲って来るかもしれませんし、冷たい風が吹く中で襲ってくるかもしれません。雨が降る中かもしれません。あるいは、学校にいる時ではなくて、家にいる時かもしれません。大切なことは、どんな状況においても、大きな地震が襲ってきたら、「命を守るための行動を起こさなければ守れる命が守れない」ということです。では、どう行動すればよいのか、この行動の仕方を学ぶために避難訓練が行われました。

避難訓練にあたって、大切なことがあります。それは、避難訓練は「練習」ではなく、「訓練」だということです。「練習」というのは、上達するために行います。「訓練」というのは、特定の状況を想定して、特定の技能を身に付けるために行います。つまり、学校において行われる「訓練」は、命を守るための行動の仕方を身に付けるためのものです。ですから、訓練に臨む際には、命を守るための大切な時間だということをしっかり意識して臨むことが大切です。

校長先生を含め、全ての先生方は、6年生のみなさんが無事に卒業式を迎えられるように、1年生から5年生のみなさんが無事に修了式を迎えられるように、毎日願いながらみなさんと力を併せて生活しています。

今日の避難訓練で、避難に要した時間は、4分34秒でした。“時は金なり”といいますが、そうではありません。“時は命”です。自分で自分の命を守りましょう。みんなで、みんなの命を守りましょう。

この後、担任の先生と今日の避難訓練について、「避難の仕方はどうだったか」、「地震が起きた時の合言葉」、「避難するときの合言葉」について振り返って、いざというときの行動の仕方を確認してください。